

東山花大より

(題字は元同盟委員長 故 北村徳太郎 氏)

2012年



発行人・大和田 浩二 発行所 Y M C A 東山荘

四二二・〇〇二四 静岡県御殿場市東山一〇五二

電話 〇五五〇(八三)一一三三

ファックス 〇五五〇(八三)一一三八



「秋の夕空にそびえる富士山・東山荘夕陽の丘より」

写真：白鳥 裕之

—さるのつばやきへ—

夕陽の風

8

東山荘所長
大和田 浩二

清涼な空気に辺りが包まれ、湿気による靄(もや)であったりが見えなくなる日が無くなったなと思う東山荘の秋は、少しの寂しさと、冬に向かってゆく身支度を整えるかのような木々の装いの彩りによる一時の華やかさを伴って、静かにしかし確実に進んでゆきます。

御殿場、三島、沼津のワイズメンズクラブの方々のワークボランティアや、施設職員の手によってきれいに刈り込まれた木々や芝生を見る度に、東山荘の自然が、原生林の手付かずの自然の美しさではなく、人間が自然と共生し、進んで手を入れてゆく美しさによって保たれ、訪れる方々に大きな癒しと安らぎを与えて、元氣をもらって帰っていただけなのだと思えます。

地球市民育成プロジェクト夏期研修や、学生 Y M C A 夏期ゼミナールに参加した、日本のみならず近隣諸国からの若者たちは、環境・人権・ジェンダー・平和・等様々な事柄を、熱く深夜まで話し合いました。その中には、ホットな領土問題も含まれていました。しかし、閉会式で肩を組み合い、共に歌い、祈る姿からは、お互いが心の中を出し合って、考え方も含む「違い」を認めつつも理解をし、友達として生きてゆけるこれからの地球市民の在りようが希望と共にはつきりと現れていました。

東山荘で9月より始まった、全国からの Y M C A スタッフ養成研修の STEP II で、岡山からの参加者が、昨年の参加者に引き続き、五味太郎氏の「ももたろう」の絵本を読んでくれました。「悪い」「鬼」を退治するために一方的に乗り込んで行く「桃太郎」ではなく、鬼ヶ島に行ってから、その鬼とぶつかりながらも遊び、解りあって、しまいは一緒に船で大騒ぎしながら仲間として鬼たちと帰ってくる「ももたろう」。

国際青少年センターとしての東山荘は、まさしくこの時代にふさわしい場としての共生と分かち合いの場となり得るのか。これからの問われるのは、大きいものがあります。

プログラム通信

この夏は7本の富士登山プログラムを実施しました。地元で唯一の登頂校の6年生全員と全教職員の富士登山をはじめ、全国からたくさん参加者をお迎えしました。どのプログラムも和気藹々、みんなが笑顔を交わし楽しい雰囲気の中で無事に終了することができました。心から感謝申し上げます。

初夏の子ども自然キャンプ

6月9日〜日

砂の行、夜の行、森の行の3本立てで思い切り遊びました。キャンプにやってくる子ども達は、よく遊び、よく食べ、よく眠ります。幸せな子どもの時を過ごしています。

い〜い砂顔！(左)



仲間と一緒に面白〜い！(右)

お姉さん達と手を繋いで！(左)



引きずられたってへっっちゃら！(上)

子ども富士登山キャンプ

8月 日〜日

小学1年生からの子ども達と精鋭リーダーの計70名が集まりました。雨から始まった登山も登るにつれ雨雲を抜け、晴天の下快適な山旅を楽しみました。富士山で誕生日を迎えた仲間のために、小さなケーキでお祝いしました。ささやかでしたがとても温かく幸せなひと時でした。

山頂で全舎集合(左)



雲海を染める「柔光舎」

のんびり楽しく富士山登頂

月 日〜月 2日

4歳から80歳までの仲間47名と一緒しました。山小屋に着くと風雨が激しさを増し、登頂は叶いませんでしたが、笑顔を交わしながら楽しく安全に旅を終えることができました。また一緒に登りましょう！



(上)雨の中、1、2、ふじきーん！一瞬現れた山頂をバックに(下)



初秋の子ども自然キャンプ

月 日〜日

夏を惜しむように水三昧に興じる子ども達から「嬉しい！楽しい！」がほとぼしるようでした。翌日は富士山の肩・宝永山に登り、あおられるような強風の中、遠くまで見はるかすダイナミックな景観を楽しみました。

絶景の宝永火口にて(左)



この顔を見よ！



ごてんばアートクラフトフェア

9月 日・日

東山荘の恵み「カヤの実」を使った笛作り等のワークショップを行いました。

2日間とも途切れることなく参加者があり、東山荘やYMCAとの初めての出会いがたくさんありました。

子どもキャンプメンバーや卒業生達も遊びに来てくれました。



嬉しく楽しい2日でした。

東日本震災支援活動

東山荘の取り組み

日本YMCA同盟では、YMCAが長年培ってきたキャンプや野外活動のノウハウを基に、企業や団体からご支援をいただき、東日本震災支援活動に取り組んでいます。被災地や避難先で生活をしている方々が富士山や東山荘でリフレッシュする機会を増やすことができるよう、他団体と協働しての支援活動を今後も大切にしていきます。

三菱商事YMCAフレンドシップ・キャンプ

第5回びのびキャンプ

7月 日〜8月4日

参加者61名で、夏の東山荘と富士山を満喫しました。水かけ祭りやふじさんぽ、バーベキューなどで盛り上がりました。



小富士登頂成功！(上)



迷いこんだ山鳩にごあいさつ(右)



生まれて初めて水遊びをした子ども。(上)

「福島の子ども保養プロジェクト」

「Inしずおか」

9月 日〜日

やんちゃな子が多く、富士山の自然の中でへとへとになるまで遊びました。福島と静岡の大学生がリーダーを担ってくれました。



10分だけ顔を現した富士山に興善！力の限り砂走り！(右)

第8回おやこリフレッシュキャンプ

9月 日〜日

参加者44名で、たくさんの乳幼児も参加しました。ふじさんぽでは2歳の参加者も力強く歩き、砂まみれになってダイナミックに遊びました。



キャンプ一番のドヤ顔↓



男2歳、登らなきや男がすたる！(右)

研修プログラム at 東山荘

今年も大勢の若者が東山荘を訪れ、学びを深め、友情を育みました

YMCA

地球市民育成プロジェクト

2012夏期研修
8月 日～9月4日

2009年度から始まった本プロジェクトの今年の夏期研修には、国内から42名、東アジアを中心とした海外から33名の計75名が、ワークショップやフィールドワークを通して学びを深め、「地球市民」の一人として、自分が住む地域で取り組む社会的課題に対するアクションプランを作成しました。

緑豊かな東山荘での1週間の共同生活をおして生まれた国境をこえての友情は、研修生にとっての何よりの宝となりました（東山荘から長田智美職員が研修生として参加しました）。



「YMCA地球市民育成プロジェクト」及び「学生YMCA夏期ゼミナール」は、いずれも主催は日本YMCA同盟。YMCAユースフアンド、ワイズメンズクラブ国際協会東西日本区からご支援をいただいています。

第 回全国学生YMCA夏期ゼミナール

9月 日～ 日

現役の学生YMCAのメンバーからOB、OGまで約90名が参加し、多くの人との出会いや交流、聖書の言葉などを通して、自分たちの「生き方」について学びました。

東山荘は「学生YMCA夏期ゼミナール」の前身である「学生YMCA夏期学校」の常設館として1915年に開設され、以来、多くの若者が、学び、祈り、交わりをとおして育っていく様子を見守ってきました。

「若い人が成長する場」としての大切な役割を、東山荘はこれからも担い続けていきます。

ステップⅡ研修 始まりました



全国のYMCAから8人が集り、東山荘と在日本韓国YMCA(東京)を拠点に、7日間の研修を行います。

ここで皆さんが将来への希望と目的を再確認することができるよう、各自が相互に積極的に関わり自律的・主体的に学び、研鑽することを願っています。

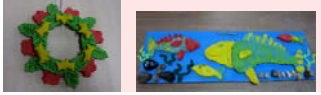
クラフトルームから

今年のクラフトルームには約800人の子も達が来てくれました。御殿場市の夏休みの宿題として定着しているようです。今年は自然素材を使ったおうちの看板などが大人気でした。

福島の事故のこともあり、できるだけ自然の素材を楽しむクラフトを充実させました。



おそろい石のペンダント(上)
↓夏だけどクリスマスリース
東山荘ねんど大傑作



季節の一品

きのこのフリカッセ

だり



●料 4 分

好みのきのこ 400g
ベーコン(ブロック) 100g
にんにく(微塵切り) 1片
白ワイン 50cc
生クリーム 100cc
ブイヨン 100cc
パセリの微塵切り 適量

●り方

- ①きのこはエリンギ・シメジ・舞茸・マッシュルーム等、大きめに切り、ベーコンは1cm幅に切る。
- ②鍋にオリーブ油とにんにくを入れて熱し、ベーコンを炒め、香りが出たらきのこを加えて更に炒める。
- ③②に白ワインを加えてアルコール分を飛ばし、半量になるまで煮詰める。
- ④生クリームを加えて少し煮詰め、塩・胡椒で味を調える
- ⑤器に盛り付け、パセリの微塵切りを振る。

塩・胡椒 適量
オリーブ油 適量



かりといた トを て!!

大盛況！受託プログラム

教会学校や各種グループのみなさんに、ネイチャープログラムをご利用いただきました。寒沢の源流を訪ねて美味しい清水をいただいたり、ふじさんぽに出掛けたり、経験と感動を分かち合うことを通して、交わりが更に深まりました。ご利用いただき、誠にありがとうございました。

子どもの心と身体の成長支援 ネットワーク主催
のんびり遊ぼうニコニコキャンプ
8月7日～8日

東山荘より遠藤舞職員が参加してきました。ボーイスカウト・ガールスカウト・愛育病院との協働開催です。

ARTS for HOPE主催
東北の子もたちのための
アートキャンプ
「森のアート海のゲイジユツ」
8月 日～ 日

アートを通して元気になつてもらおうというキャンプ。福島ではできない枯れ枝や落ち葉拾いを楽しみました。コンサートもよかったです。アートや音楽の力の素晴らしさを感じました。

富士山にやっつき 富士山の前でアートワークショップ(左)



主催プログラムのご案内

●秋のこども自然キャンプ
スペシャル

日程 月 金 日 日 2泊3日

対象 小学1年～6年生の男女
※中高生ジュニアリーダー
若干名も同時募集します。

参加費 13,000円

内容 せつかくの連休です。東山荘で、富士山で、思いっきり遊ぶ！今回のキャンプでは、なんと野外で寝袋泊をする予定（雨天時は体育館またはネイチャーセンター）。想像するだけでワクワクです！ご参加お待ちしております。
※既に募集を開始しています。悪しからずご了承ください。

●第 回
年末年始家族パーティー

日程 月 日 日 1月4日(金)

内容 盛りだくさんのアクティビティは自由を選ぶことができます。のんびりするもよし、全種類制覇を目指すも良しの温かい雰囲気での会です。

ご家族ではもちろん、おひとり様でも気軽に楽しくご参加いただけます。
都合に合わせてのご滞在、ご参加も歓迎です。皆さんのご参加をお待ちしています。

※詳しくは別紙パンフレットをご覧ください。
（ご覧下さい）

●第2回災害ボランティア講座

日程 月 日 土

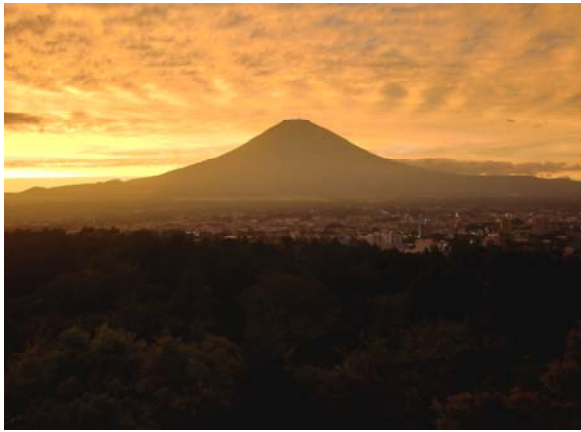
参加費 500円 時 時 分

※高校生以下、被災をされた方は無料です。

場所 東山荘
内容 日本は様々な災害の危険が予想されます。阪神淡路大震災と東日本大震災両方の支援活動経験者より学びの機会を持ちます。

災害があつた時に私達に何ができるか、今、東日本に対して私たちに何ができるかについて、共に考えてみましょう。
（担当佐久間）

さるのつぶやき さるリーダーのつれづれ話



「おらが富士」…自分のふるさとから仰ぐ富士山が一番きれいだ、ということの意味することばですが、富士山麓に住む私たちにとつてこの山は、少し離れたところからいつも見守ってくれている、大きなお母さん、お父さんといったところでしょうか。日々の生活の中でも気が付くとその姿を探していて、そして一目出会うと一安心といった感じです。
私も毎朝起きて一番始めにすることは、「今日は見えているかな？」とカーテンを開けることです。
ところどころでも「おらが富士」という言葉が存在するのは、富士山が見る場所によつてその姿が大きく異なるからです。ちなみに御殿場からの富士山は左右の稜線と山頂がふくらみを帯びた女性的でふくよかな姿で、中でも東山荘・夕陽の丘からの姿は、左右対称の稜線がどこまでも長く裾を引いた抜群のスタイルで特に美しく、たおやかな落ち着いた印象を受けます。

表紙写真と「つぶやき」
プログラム主任 白鳥 裕之



期間限定キャンペーン

2012年11月1日～2013年3月31日
（年末年始期間を除きます）



グループ・仲間・ご家族でご利用いただけます

- ・ウィンター学生プラン（1泊2食付10名様～）
小学生 …5,000円
中・高・大学生…6,000円
※5,6号館限定
 - ・ウィンター・ツインルームプラン
1室2名様ご利用時:お一人様素泊まり料金
バス・トイレ付…6,000円
バス無し …5,000円
- 上記の他、人気のロッジご宿泊、会議室割引のプラン、お食事のプラン等がございます。詳しくはお問合せください。

写真は東山荘の庭にある樹高約18mのカヤの木です。2年越しで実を着けるカヤは、少ない年でも2千個もの実りをもたらしてくれます。

大切な食料として、昔から人の集る場所に植えられてきたというカヤの下には、東山荘でもこども達が集り笛を作ったりして賑やかに遊びます。



編集後記

夏の東山荘には様々な出会いがあります。ご利用の目的も年齢も様々、普段の環境も全く異なる方々が、時と場所を分かち合います。お互いに尊重し合い和やかに分かち合う風景から、平和を感じます。年末年始の東山荘は「大きなおうち」になります。みなさんどうぞおでかけください。

おしめい		料のごは	
日本YMCA	東山荘		
	場市東山		
TE	0550	83	1133
A	0550	83	1138